

地域公共交通網形成計画の取組状況

	事業の内容及び実施主体	実施目標年度	取組の具体的な内容
	1 既存路線の維持と国の事業の積極的な活用（町・地域公共交通会議・バス事業者）		
	（1）既存路線の継続運行	国のスケジュールに合わせる	既存路線は継続して運行。
	（2）地域公共交通確保維持改善事業の活用	国のスケジュールに合わせる	平成27年度地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業（計画推進事業））を活用。平成27年11月2日付けで申請、12月2日付け決定通知。補助対象経費127,440円、補助金額63,720円で、現在公共交通マップを作成中（QRコードの追加等）。
	（3）地域公共交通再編事業の活用	必要に応じて	現時点で再編事業は実施していない。
	2 地域公共交通会議の開催（町・地域公共交通会議）		
	（1）地域公共交通会議の開催	年3回程度	平成27年9月1日、平成28年1月14日、3月16日に開催。
人にやさしい安全な交通	3 バスや関連施設の充実		
	（1）バスの安全対策やバリアフリー化（町・バス事業者・施設管理者） ・バス車両の交通安全対策、ヒューマンエラーによる事故防止対策の徹底 ・タウンバス北ルート of バス車両や施設のバリアフリー化	随時実施	・あおい交通では指差し確認を励行。名鉄バスでは一般路線バス全車にドライブレコーダーを搭載、左折一旦停止を励行、会議にて交通安全の事例を周知。 ・南北ルートの車両はリフト付。その他、一般路線バスもバリアフリー化済。
	（2）バスの待合環境の整備（町・バス事業者・施設管理者） ・ベンチやバス停の照明施設の整備、公共交通利用案内やサインの充実 ・バスの待合や案内、乗車券の販売など、社会教育センターのターミナルとしての機能強化	28年度～	――
	4 高齢者等の移動範囲の拡大		
	（1）バス停勢圏の拡大や利便性の向上（町・バス事業者） ・バス路線の充実や道路ネットワークの整備などを通じたバス停勢圏の拡大や利便性の向上	29年度～	――
	（2）利用しやすい運賃体系の構築（町・バス事業者） ・利用者の意向や費用対効果を踏まえたわかりやすく利用しやすい運賃体系の構築	30年度～	――
	（3）タクシーや移送サービスとの連携（町・タクシー事業者・社会福祉協議会など） ・これまでの施策の継続実施と名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会が作成する「準特定地域計画」と連携した取組等、タクシーの特性を活かした輸送サービスや移送サービスの取組検討	29年度～	・名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会が作成する「準特定地域計画」への意見集約を行い、協議会へ提出済。3月16日に「準特定地域計画」を協議予定。
	（4）デマンド交通の導入（町・バス事業者・デマンド交通事業者） ・とよやまタウンバスの北ルート周辺地域を中心としたデマンド交通の導入検討	30年度～	――
まちの機能や魅力を高める 利便性の高い交通	5 バスの利便性の向上		
	（1）とよやまタウンバス南北ルートの改善や見直し（町・バス事業者・商業施設や医療機関など） ・とよやまタウンバスの南北ルートにおける利用者ニーズに対応した改善や見直し	29年度～	――
	（2）バスの利用環境の改善・充実（町・バス事業者・検索サイト事業者） ・「地域協働推進事業」の取組実施及びQRコードの活用やバスロケーションシステムなど、新たな利用環境の改善・充実の検討	27年度～	・平成27年度地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業（計画推進事業））を活用。平成27年11月2日付けで申請、12月2日付け決定通知。補助対象経費127,440円、補助金額63,720円で、現在公共交通マップを作成中。QRコードについては、公共交通マップへ掲載予定。
	（3）新しい乗車サービスの導入（町・バス事業者） ・定期券を始めとした券種や優待制度など、新しい乗車サービスの導入検討 ・とよやまタウンバスを始め町内を運行するバス路線でのIC乗車カードの検討	30年度～	・名鉄バス、名古屋市営バスにおいてIC乗車カードは既に導入済。

	事業の内容及び実施主体	実施目標年度	取組の具体的な内容
利便性の高い交通 まちの機能や魅力を高める	6 産業活動や地域間交流を支える交通環境の整備		
	(1) MR J 関連の通勤者や見学者のアクセス確保 (町・バス事業者) ・とよやまタウンバス、名鉄バス、あおい交通の連携・協力したバス路線の充実 ・北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの延伸等についての要請	27年度～	・平成27年7月31日に名鉄バス、8月5日にあおい交通へ、県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。 ・平成27年7月29日に名古屋市交通局へ県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。平成29年3月に北部市場～名古屋空港まで延伸運行社会実験予定。
	(2) 近接市町のバス路線との連携 (町・近接市町・バス事業者) ・きたバス (北名古屋市)、こまき巡回バス (小牧市)、かすがいシティバス (春日井市) 等との連携に向け、各バス路線の情報提供やPR、ダイヤ調整や待合所の整備、乗り継ぎ割引などの検討	30年度～	・町ホームページからこまき巡回バス (小牧市) へのリンクを完了。きたバス、かすがいシティバスへのリンクを作成中。
環境にやさしい交通	7 クルマに過度に依存しない交通行動の促進		
	(1) 公共交通マップ等の作成・配布 (町・地域公共交通会議・町民協議会議) ・住民や利用者等の意見を踏まえ、よりわかりやすい公共交通マップを作成し、公共交通のPRとして町民や本町への通勤者、新規転入者などに配布 ・地域公共交通会議や町民協議会議などの構成員の協力を得て、公共交通を利用したお出かけプランを提案、町民が公共交通を使っていきたいと思う働き掛け	随時実施	・平成27年11月に公共交通マップを作成 (2, 500部)、配布。作成時には名鉄バス、あおい交通と内容、表現について調整。 ・お出かけプランについては「見どころマップ」を今年度中に作成予定。本町へのアクセス方法やウォーキングマップなどの情報を盛り込む。
	(2) バスの乗り方教室や出前講座等の開催 (町・地域公共交通会議・町民協議会議) ・高齢者や主婦、子ども、地域団体などを対象とした「バスの乗り方教室」や出前講座の開催、環境にやさしい公共交通やバスの利用促進、町民協議会議などを活用した公共交通やバスに関する意見交換	随時実施	——
	(3) 利用促進イベントやキャンペーンの実施 (町・地域公共交通会議・町民協議会議) ・環境フェスティバルや健康福祉フェスティバル、交通安全教室など既存のイベントやキャンペーンと連携したバスを中心とする公共交通の利用促進	随時実施	・平成28年2月6日バラ育成サポーター講座にて参加者に公共交通マップを配布、PR。
	(4) 広報誌やホームページ等による公共交通のPR (町) ・「広報とよやま」や「とよやまチャンネル」にバスをPRする記事やコーナーを設け、バスや公共交通に対する町民の意識啓発と利用促進の実施 ・町のホームページにおける公共交通関連情報の充実、スマートフォン版の作成	随時実施	・広報とよやま4月号にてバスのPR記事を掲載。 ・ホームページ (スマートフォン版含む) での公共交通関連情報を更新。
	8 自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備		
(1) 安全で魅力的な自転車・歩行空間の整備 (町) ・自転車道や緑道・散策路などの整備、自転車マップやお出かけマップなどの作成の検討、レンタサイクルの導入検討	27年度～	・「見どころマップ」を今年度中に作成予定。	
(2) バスと自転車との乗り継ぎ環境の整備 (町) ・主なバス停周辺に自転車駐車を整備、自転車や徒歩からバスに乗り継ぐための有用な情報提供	28年度～	——	